

新規

事業者名

西日本土木株式会社 山鹿砕石所

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

西日本土木株式会社は、以下の環境負荷軽減を目指します。
事業活動に伴う環境負荷を削減するための目標として、2030年までに「砕石事業に関するエネルギー単単位を15%削減する」「CO2間接排出量を40%削減する(現状8500t/目標5000t)」

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	砕石事業によるインフラ整備を通じた災害への強靱性強化	砕石事業において、コンクリートやアスファルトの主要原料となる砕石を製造・販売量。2023年度 1,696,935m ³ →2026年1,788,000m ³
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	土木事業によるインフラ整備を通じた災害への強靱性強化	土木事業では道路の舗装や河岸整備、法面工事などのインフラ工事を請負金額。2023年度1,562百万円 →2026年度1,650百万円
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	公共施設建設による住みやすいまちづくりへの貢献	建築事業では、学校や消防署、こども園、クリニックなど地域の公共施設等の建設金額。2023年度1,633百万円 →2026年度1,700百万円

<パートナーシップ>

特になし

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。